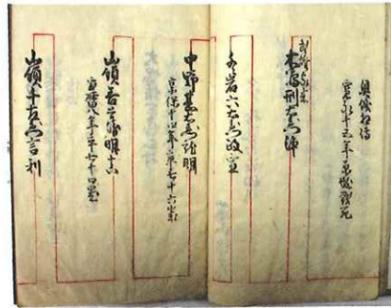


特集！ 企画展『肥前の古武道』

『肥前の古武道』展では、柳生新陰流の流をくみ、佐賀藩剣術の主流となったタイ捨流に関する古文書等を中心に古武道の資料を紹介します。

佐賀藩の古武道

佐賀藩では、藩校・弘道館において、学問と共に武道が必修となっており、身分を問わず、多くの藩士が武道諸流を鍛錬していました。堤主礼が著した「雨中之伽」には、佐賀藩において栄えた文武の諸道から遊戯までの歴史が、48項目にわたって詳述されています。古武道関係では弓術・馬術・鎗術・薙刀・剣術・柔術・砲術・手裏剣・居合などについて述べられており、武道の隆盛を物語っています。



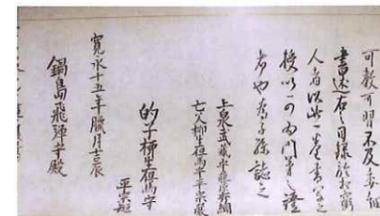
諸芸師家系図〔鍋211-34〕
(鍋島報効会所蔵 寄託先:本館)
佐賀藩における武道各流派の相伝系統をまとめたもの。上巻は現存せず、柔術・弓術・馬術からなる中巻と、槍術・剣術からなる下巻が現存している。流派ごとの相伝者・相伝年代、師弟関係まで知ることができる貴重な資料。



雨中之伽〔鍋070-01〕
(鍋島報効会所蔵 寄託先:本館)

剣術

佐賀藩では新陰流・タイ捨流・鉄人流などの剣術が盛んでした。特に新陰流は、小城藩初代藩主の鍋島元茂が、徳川家光・柳生十兵衛を同門として柳生宗矩の元に入門したことにより盛んとなり、以来、主に上級武士の間で相伝されます。



新陰流兵法之書〔坊991〕(本館所蔵)
柳生新陰流の相伝書。肥前における系統を知ることができる。

タイ捨流

タイ捨流は、肥後人吉の丸目蔵人佐が創始した剣術の流派です。新陰流を基礎としており、自分も生かし、相手も生かす「活殺剣法」といわれます。肥前には、慶長～元和年間頃に蔵人自らが訪れ、武雄の木島藤左衛門・刑右衛門親子に印可しており、「肥前タイ捨流」といわれています。

肥前におけるタイ捨流は、主に中級・軽輩の武士層において広まりましたが、幕末になると藩主鍋島直正が自らタイ捨流に入門しており、その豪快な気風が藩主と佐賀藩に大きな影響を与えたといわれています。



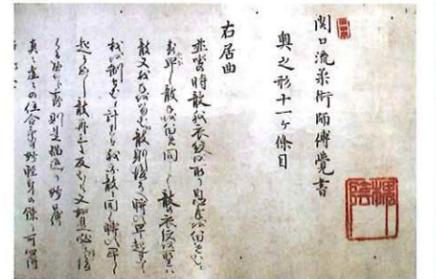
タイ捨流解紐
〔鍋353-01〕(鍋島報効会所蔵 寄託先:本館)
二代藩主鍋島光茂の御側頭を勤めた中野就明が著したタイ捨流剣術の解説書。「伝流ノ源ヲ失ン事ヲ憂ヒ」て、口伝の極意も含めてまとめられている。



丸目蔵人佐肖像画(個人蔵)
肥後南部を領していた相良氏の家臣であり、天文9年(1540)年に肥後国八代郡に生まれた。京で新陰流の始祖である上泉伊勢守信綱の弟子となり、27才の永禄10年(1567)に印可状を受けている。その後郷里において新陰流を指南し、九州一円に広めたあと、独自の工夫によりタイ捨流を開流した。

捕手術・柔術

罪人などを取り押さえるときに用いる武術としては「捕手術」があります。佐賀藩多久領では、大山賢心により「夢想賢心流捕手術」が創案されました。賢心は、天狗と武術の試合をした夢をヒントにこれを創案したとされており、近世末期には軽輩の武士層の間にも広がりました。(1ページの写真)また、捕手術から生まれた武術としては柔術があります。肥前では、関口流・揚心流・起倒流などの流派が盛んでしたが、特に蓮池藩では関口流柔術が広まりました。関口流は中国拳法を基に関口氏心によって創始されており、右の資料にはその由緒が述べられています。



関口流柔術師範覚書〔蓮353-23〕(本館所蔵)
関口流柔術の「奥の形」が11ヶ条にわたって記されている。幕末の相伝者、石井忠真の記

馬術

佐賀藩では、倉永家が代々馬術指南役を務めており、「倉永馬術」と呼ばれていました。前述の「諸芸師家系図」によると、佐賀藩との関わりは古く、初代藩主鍋島勝茂に仕えた倉永正次まで遡ります。八條流・大坪流馬術などを指南していましたが、幕末にはいち早く西洋馬術が採り入れられました。



再拜々々敬白天罰起請文前書〔倉078-07〕(本館所蔵)
西洋馬術入門に際して、稽古に励むことを神仏に誓ったもの。多数の入門者の名が連ねられており、その中には佐野常民(榮寿佐衛門)の名が見える。

企画展『肥前の古武道』及び郷土文化講座等のお知らせ

主催 佐賀県立図書館 佐賀城本丸歴史館
場所 佐賀城本丸歴史館
行事 (1) 古文書等資料展示

日時 平成20年10月17日(金)～11月24日(月)〔39日間〕 9:30～18:00
※期間中は無休です。

(2) 郷土文化講座

日時 平成20年10月19日(日) 13:30～16:30

内容 ①講演 演題:「肥前の古武道～丸目蔵人と肥前におけるタイ捨流～」

講師:元熊本県錦町教育委員長 渋谷 敦 氏

②演武 演題:「タイ捨流剣術の奥義」

講師:錦町無形文化財タイ捨流 十三代宗家 山北 竹任 氏・木野 敬夫 氏

③講習 タイ捨流剣術指南(地元高校剣道部生徒への指導を見学できます)

(3) ギャラリートーク(展示解説)

日時 平成20年10月25日(土)、11月3日(月) 13:00～13:30

(4) 歴史館ゼミナール

日時 平成20年11月9日(日) 13:30～15:00

どの行事も事前申込みは不要です。
どなたでも御覧いただけます。

《問合せ先》 佐賀県立図書館 TEL 0952-24-2900 FAX 0952-25-7049

県立図書館ホームページ <http://www.pref.saga.lg.jp/kentosyo/> E-mail saga-kentosyo@manabisaga.jp